



た か つ

10号



川崎市立高津小学校

「テンプル大学」知っていますか？

校長 飯塚 正行

テンプル大学ジャパンキャンパス(TUJ)が溝の口(川崎市高津区久地)に新設されました。「ヒルサイドセンター」と呼ばれるこの施設は、2026年8月末に最初の授業がスタートし、2026年9月4日にグランドオープニングセレモニー(開設記念式典)が開催されました。

テンプル大学(Temple University)のアメリカ本校は、アメリカ東海岸の歴史ある都市、ペンシルベニア州フィラデルフィアにあります。1884年に創立された、140年以上の歴史を持つ米国の州立総合大学です。

ちなみに、高津小学校の前身である「宗隆寺」の「溝口学舎」ができたのが、1873(明治6)年。「溝口学校」と名前を変えたのが、1874(明治7)年です。そして、「高津村立尋常高等第一高津小学校」となったのが、1892(明治25)年ですので、同じくらいの歴史がありますね。

テンプル大学(TUJ)は、米国ペンシルベニア州立テンプル大学の日本校で、授業はすべて英語で行われています。主に大学1年生が、このヒルサイドセンターで基礎的な科目を学んでいます。アメリカの正規の大学カリキュラムを学ぶことができます。

学生の約7割が海外からの留学生であるため、日常的に多様な文化や国際感覚を学ぶことができます。オンラインと対面のハイフレックス型授業に対応しています。

テンプル大学の主な特徴や魅力については、次の通りです。

世界的な高評価を受ける研究機関であり、米国内の公立大学でトップ50内、世界大学ランキングでも上位に位置する、非常に知名度と教育水準の高い名門校です。

東京(世田谷・溝の口)や京都にあるジャパンキャンパス日本校(TUJ)は、このフィラデルフィア本校の「完全な日本校」で、日本にいながらアメリカの本校と全く同じカリキュラム、全く同じ学位(アメリカの大学卒業資格)を英語で取得できるのが最大の特徴です。

10月2日(金)午前中に「テンプル大学 ヒルサイドセンター」に行ってきました。ヒルサイドセンターの所長は、「ケーシー レビトン」という女性でした。日本語がとても上手で、お子さんが日本の小学校に通っているとても優しいお母さんです。

キャンパスに一步足を踏み入ると、そこは「アメリカ」です。外国の若者たちが英語で会話をし、楽しそうに談笑していました。フロアマップも表示も、案内板も全てが英語表記で、先生方の授業の様子も見学しましたが、映画で見るそのものでした。通う学生さんたちは様々な国から集まっていますが、目標を高く持ったとても優秀な若者ばかりです。将来的には日本国内で仕事をしたいという人が多いそうです。

ケーシー所長は、同じ地域にある学校として、地域のみなさんや学校の児童生徒さんと、協働した活動をしたいとお話していました。どんなことから始められるか、一緒にゆっくりと考えていきたいと思っています。小学校の「英語・外国語活動」に学生さんたちが来てくれるようになるかもしれません。2年・3年の「まち」の見学で「テンプル大学」に行く時が近くあるかもしれません。「探究的な学び」の活動の中で「テンプル大学」を訪れるようになるかもしれません。可能性は無限大です。

お知らせとお願い

東門付近の工事について

11月上旬から12月上旬まで、東門付近でゆうゆう広場の変電設備の交換工事を行います。フェンスが設置されますが、通常通り通行可能です。ご承知おきください。なお、学校では、万全を期すため、児童への安全指導を行う予定です。

体育の服装について

通常、上は白の体育着、下は紺のハーフパンツを使用していますが、寒い時期には、防寒対策として以下の衣服も着用可能です。必要な場合は、運動に適したもので、体育用に用意したものを体育着入れに入れておいてください。

上…フードやジッパーのないトレーナー
下…スウェット、ジャージ等のロングパンツ

なお、10月下旬にPTAのWeb販売からトレーナーやスウェットパンツを販売する予定ですので、どうぞご利用ください。

また、体育の授業では、スパッツやレギンス、タイツ類の着用はできません。これらは体温調整がしにくく、汗をかくと体が冷える原因となります。体育のある日は、スパッツ等の着脱の手間がかからない服装で登校させるようお願いいたします。